

事業評価監視委員会審議資料
道路事業の説明資料(再評価)

一般国道329号金武バイパス

沖縄総合事務局開発建設部

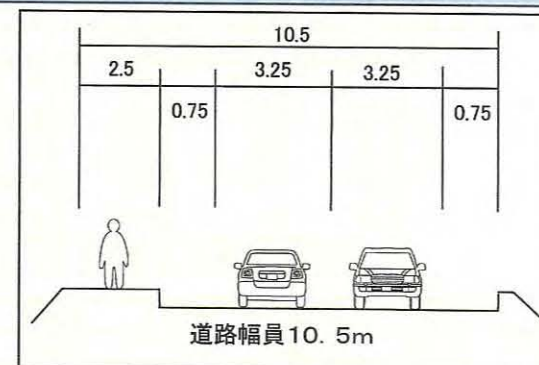
1. 一般国道329号金武バイパスの事業概要 . . .	1
2. 事業の必要性	2
事業を巡る社会経済情勢等の変化	2
事業の投資効果	5
3. 事業の進捗と見込み	10
4. 施設の構造や工法の変更等	11
5. 対応方針（案）	13

1 一般国道329号金武バイパスの事業概要

1

一般国道329号は、名護市を起点とし本島東海岸を南下し那覇市に至る延長約76kmの主要幹線道路である。金武バイパス区間の金武町金武中川から金武浜田にかけては、急カーブや急勾配など線形不良箇所が複数あり、交通事故のおそれ非常に多い箇所となっている。また、沿道は住宅、商店、公共施設等が密集しており、交差点や車両乗り入れ口も多く、幹線道路としての機能が低下している。金武バイパスは交通安全の確保、朝夕の交通混雑の解消、地域交流の促進、幹線道路としての機能向上に大きく寄与する道路である。

- 事業名 : 一般国道329号 金武バイパス
- 事業種別 : 第3種2級
- 起終点 : (自) 沖縄県国頭郡金武町字金武中川
(至) 沖縄県国頭郡金武町字金武浜田
- 延長 : 5.6km
- 供用延長 : 0.8km
- 事業化 : 平成3年度
- 都市計画決定 : -
- 用地着手 : 平成6年度
- 工事着手 : 平成7年度
- 全体事業費 : 152億円
- 現在の費用便益比 : $B/C=1.1$ (事業全体)
 $=2.7$ (残事業)



(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

1) 当該地域の人口推移

金武バイパス周辺の、金武町・宜野座村の人口と世帯数は増加している。

- ・ 宜野座村は、沖縄県で人口増加が著しい市町村の第3位
- ・ 金武町は、沖縄県で世帯数増加が著しい市町村の第3位

(平成12→17年の比較)

人口

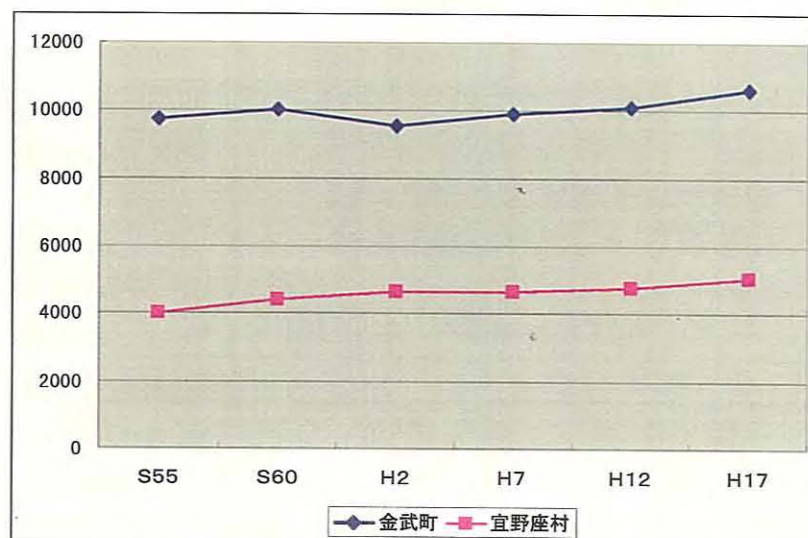
	S55	S60	H2	H7	H12	H17
金武町	9,745	10,005	9,525	9,911	10,106	10,626
宜野座村	4,022	4,414	4,630	4,651	4,749	5,042

	市町村名	人口	増加数	増加率(%)
1	竹 富 町	4,190	639	18.0
2	渡 嘉 敷 村	790	60	8.2
3	宜 野 座 村	5,042	293	6.2
4	恩 納 村	9,622	558	6.2
5	中 城 村	15,802	815	5.4

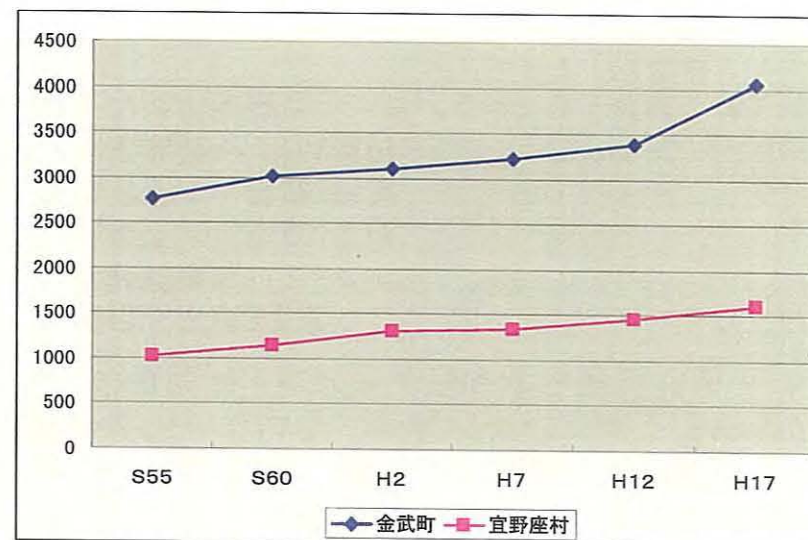
世帯数

	S55	S60	H2	H7	H12	H17
金武町	2,756	3,009	3,104	3,216	3,378	4,060
宜野座村	1,031	1,152	1,314	1,340	1,459	1,616

	市町村名	世帯数	増加数	増加率(%)
1	竹 富 町	2,126	432	25.5
2	恩 納 村	3,545	621	21.2
3	金 武 町	4,060	682	20.2
4	中 城 村	5,332	710	15.4
5	北 谷 町	9,305	1,092	13.3



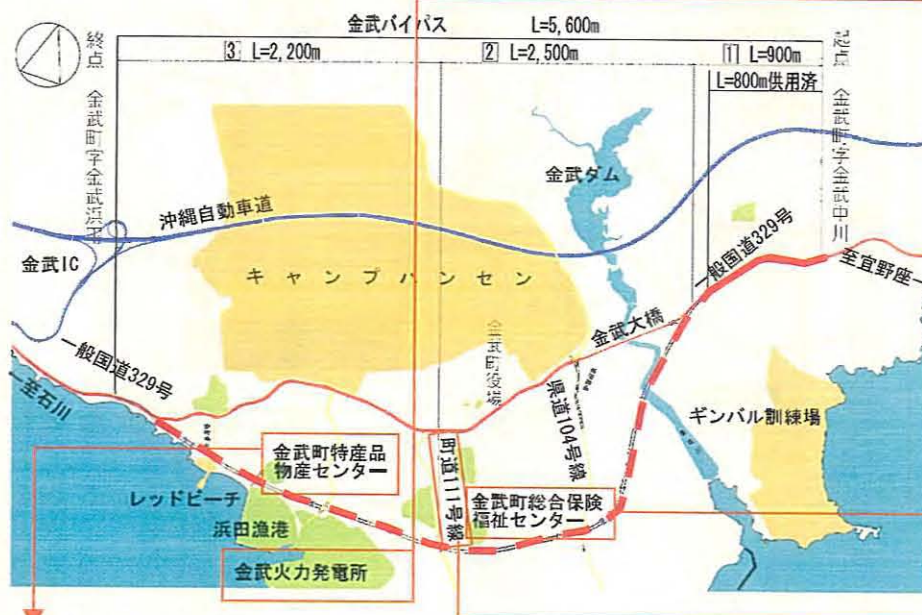
< 2 町の人口推移 >



< 2 町の世帯数推移 >

3) 周辺環境の変化

- 金武町特産品物産センターがオープン
 - 金武火力発電所が竣工
 - 金武町総合保険福祉センターの開設
- など、金武バイパスを中心としたまちづくりの動きがみられる。



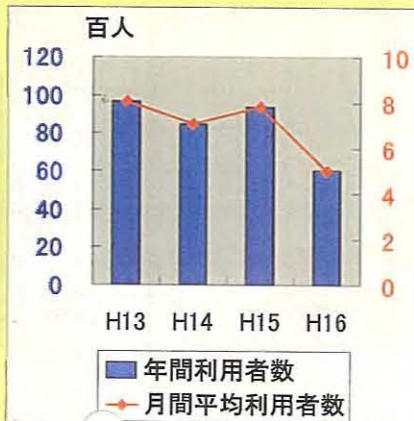
- 金武火力発電所
 - ・約200人が町外から通勤
 - ・出入車両 (ダンプトラック/10t)
- 1,000台/年



- 金武町総合保険福祉センター
 - ・福祉サービス総合施設 (平成12年度開設)
 - ・利用者数：約3万人/年



- 金武町特産品物産センター
 - ・平成16年：利用者60百人(アクセス向上による集客増加が望まれる)



- 町道111号線
 - ・平成15年度：事業採択
 - ・平成21年度：完成予定

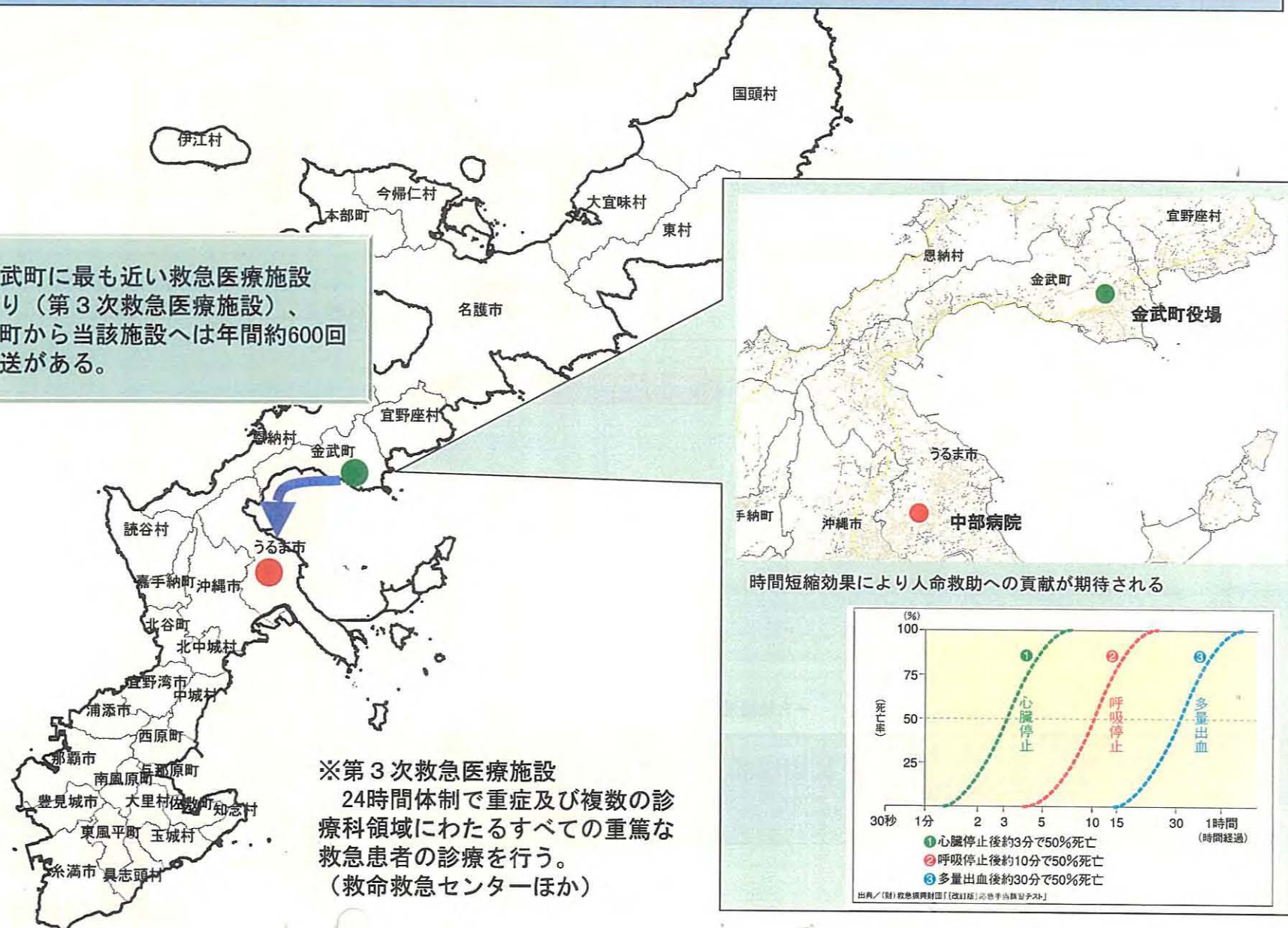


2) 安全で安心できるくらしの確保

●第3次救急医療施設沖縄県立中部病院～金武町役場の所要時間が約3分短縮※

※交通量推計における混雑時の、現道利用とバイパス利用の所要時間差

金武町に最も近い救急医療施設であり（第3次救急医療施設）、金武町から当該施設へは年間約600回の搬送がある。



●線形不良区間の解消により安全性・快適性が向上

- ・交通事故の危険性の高い、急勾配・急カーブ区間が解消
- ・金武バイパスの整備により交通量が分散し、当該区間（現道+バイパス）の事故件数が約28%減少

○適切な勾配・曲線半径の道路を整備することにより、国道としての幹線機能の強化のみならず、現道への通過交通流入の削減効果によって、沿道住民の住環境、安全性の向上を図る。



<平面図凡例>

- 勾配5.0%以上
- 曲線半径150m以下
- : 死傷事故率比2以上の区間

※ 死傷事故率比=区間死傷事故率/平均死傷事故率

* 人身事故件数推計値:

下記資料に基づき現道及び計画道路のみを対象に算出した。単路+主要交差点の件数である。

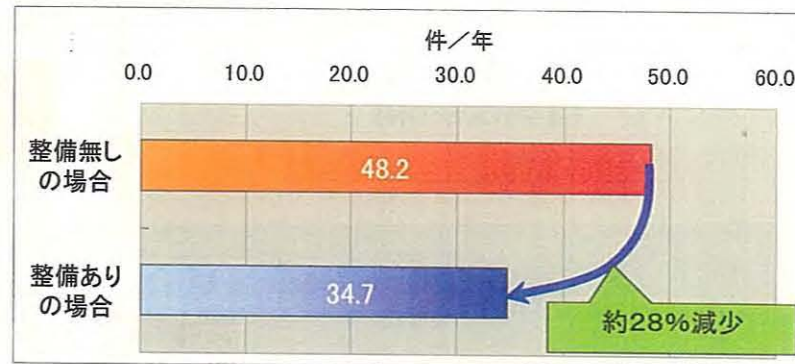
「交通事故減少便益の原単位の算出方法—平成15年1月 国土交通省道路局」

道路事業評価手法検討委員会 <http://www.mlit.go.jp/road/ir/iinkai/pdf/sl-57.pdf>



<急勾配の緩和>

<急カーブの緩和>

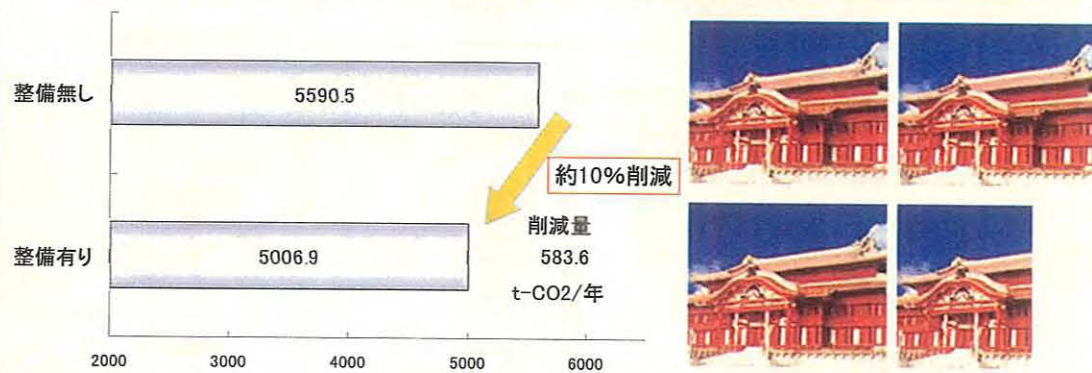


<将来における人身事故件数*の変化予測>

3) 地球環境の保全及び生活環境の改善・保全

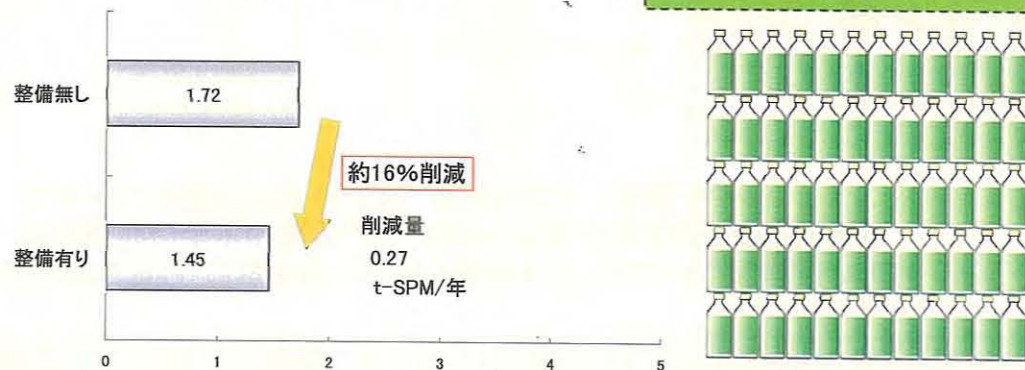
- 対象路線の整備による自動車からのCO₂、NO_x、SPM排出量の削減
金武バイパスが整備されることにより、自動車から排出される環境負荷物質が削減される。

【CO₂年間排出量】



出典：環境省の公表データを基に算出

【SPM年間排出量】



※SPM削減量を500mlペットボトルに換算。(SPM100g=500ml)

出典：東京都環境局自動車公害対策部

【NO_x年間排出量】



走行する大型車に
換算すると約1万台に相当



※大型車1台が40km/hで那覇市～名護市(約70km)を走行した場合に排出するNO_x量に換算

費用便益比 (B/C) = 1.1 (事業全体)
= 2.7 (残事業)

基準年：平成17年度
現在価値算出のための割引率：4%
検討期間40年間

$$\begin{aligned}
 \text{費用便益比 (B/C)} &= \frac{\text{走行時間短縮便益} + \text{走行経費便益} + \text{交通事故減少便益}}{\text{事業費} + \text{維持管理費}} \\
 &= \frac{155 \text{ 億円} + 14 \text{ 億円} + 14 \text{ 億円}}{147 \text{ 億円} + 20 \text{ 億円}} \\
 &= 1.1
 \end{aligned}$$

○事業費

一般国道329号金武バイパスの整備に要する事業費

○維持管理費

供用後の道路維持修繕に要する費用

(例：維持費、清掃費、照明費、オーバーレイ費等)

○走行時間短縮便益

道路の整備・改良がない場合の総走行時間費用から、道路の整備・改良が行われる場合の総走行時間費用を減じた差

○走行経費減少便益

道路の整備・改良がない場合の総走行経費から、道路の整備・改良が行われる場合の総走行経費を減じた差

(例：燃料費、油費(オイル)、タイヤ・チューブ費、車両整備費(維持・修繕費)、車両償却費等)

○交通事故減少便益

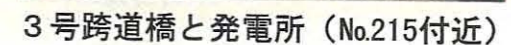
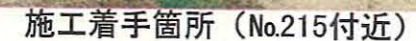
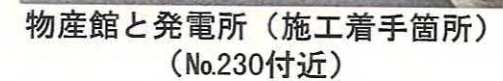
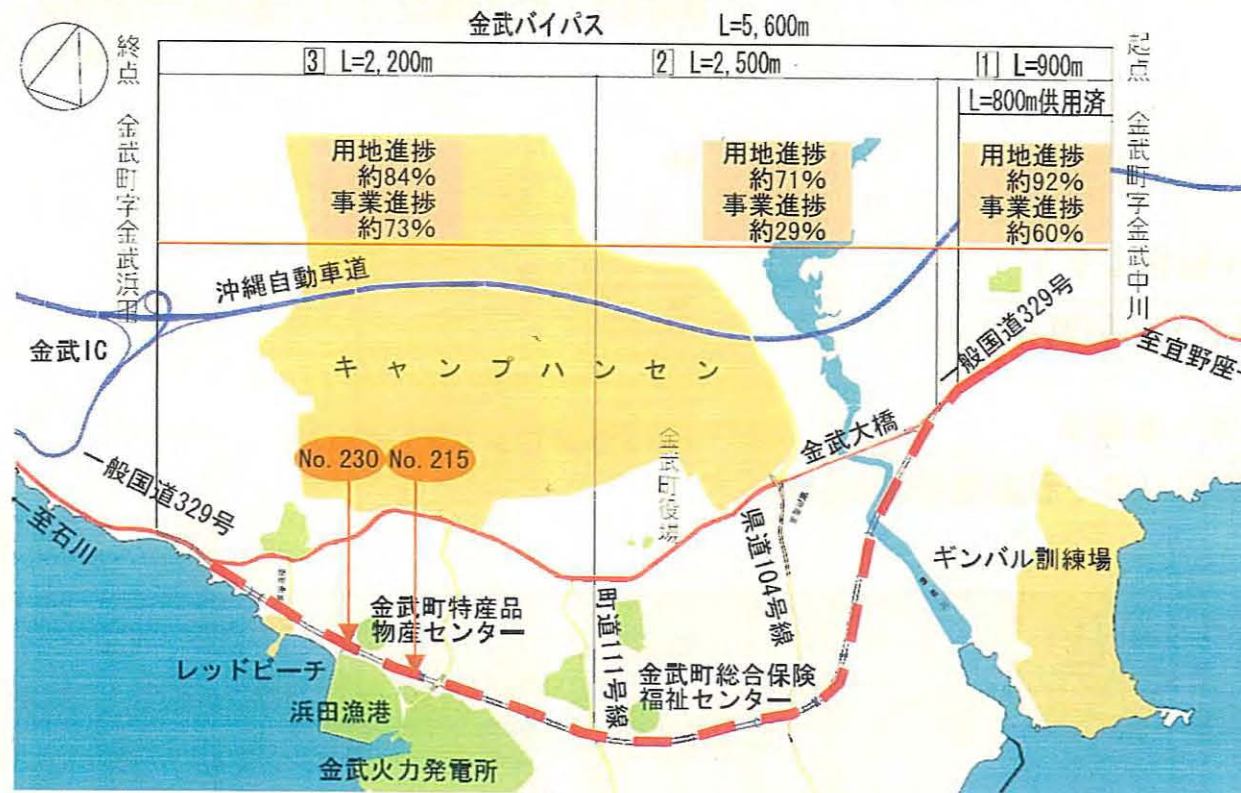
道路の整備・改良が行われない場合の交通事故社会的損失から、道路整備・改良が行われる場合の交通事故社会的損失を減じた差

(運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額及び事故渋滞による損失額)

平成17年度末見込み

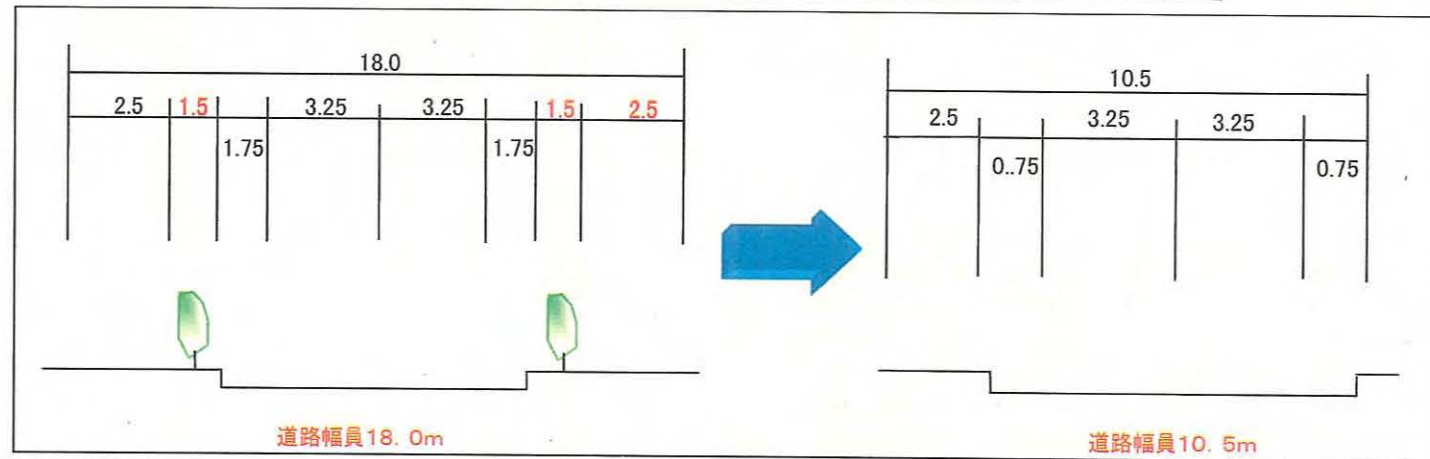
- 平成3年度 事業化
- 平成6年度 用地着手
- 平成7年度 工事着手

- ・用地進捗率が約80%、事業全体の進捗率が約51%である。
- ・起点側約800m（現道拡幅区間）については平成8年度供用済。
- ・3工区については平成22年度末（町道111号線の整備にあわせ）供用する予定。

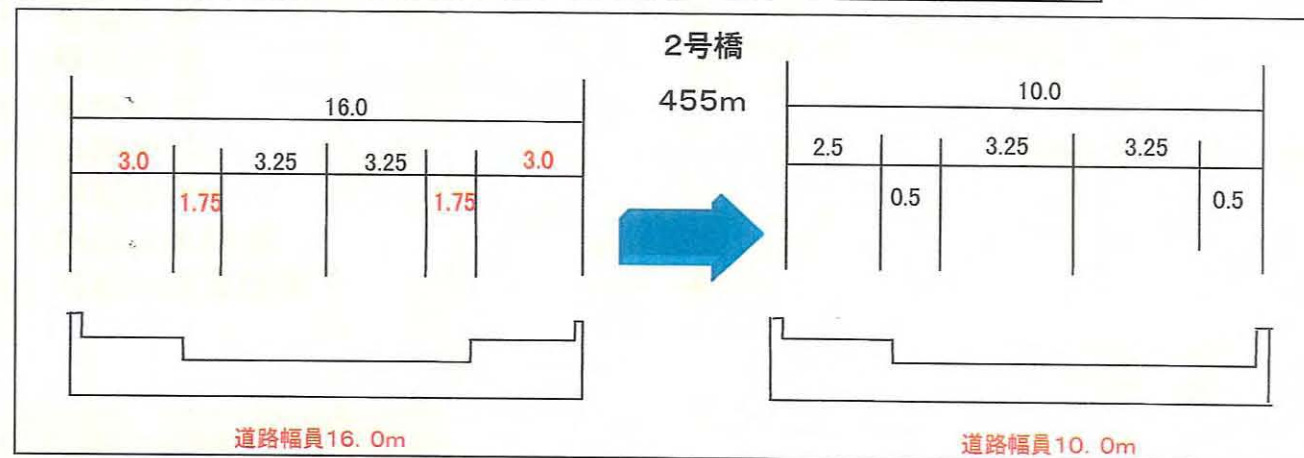


● 現在実施したコスト縮減

概要：2、3工区の道路幅員を見直し、植樹帯を無くし、片側歩道に変更することにより道路幅員を縮小



概要：2号橋の道路幅員を見直し、片側歩道に変更することにより道路幅員を縮小



● 今後も引き続き構造を見直しながらコスト縮減を行う。

● 地域の要望・活動

一般国道329号 金武バイパス早期建設に関する要望書

平成 8年 5月21日：金武町並里区長
 平成 8年10月24日：金武町町議会
 平成10年 4月24日：金武町長
 平成11年 2月 4日：沖縄電力
 平成16年11月 1日：金武町長
 平成17年12月20日：金武町長
 平成18年 3月 2日：金武町長

金企第 8239号

平成18年3月2日

内閣府 沖縄総合事務局

北部国道事務所 所長

高良 保英 殿

金武町長 侯 武 剛



一般国道329号金武バイパス事業の整備について（要望）

時下、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本町行政全般にご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、金武バイパスの供用は今後の本町の振興発展にとって重要であり、本町のバイパスを活用したまちづくりの実現に向け、町としても引き続き同事業の推進に最大限の支援・協力をしていく考えております。

つきましては、道路予算の確保も難しいことと察せられますので、片側歩道化による幅員の縮小、その他の計画の変更等により大規模なコスト削減を図っていただくほか、金武町としても用地買収について全面的に協力を致しますので町道111号線の完成と合わせた金武バイパス3工区の早期供用を実現していただきますようお願いいたします。



<H18.3.2 要望書>

平成12年度の再評価から一定期間（5年間）が経過したため、3つの視点で再評価を行った。

1. 事業の必要性に関する視点

◆ 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 金武町物産センター、総合保険福祉センターが開設されるなど、計画路線周辺を中心とした、まちづくりの動きが見られる。

◆ 事業の投資効果

- 交通混雑の解消
現道とバイパスの適正な分担により、当該区間の渋滞損失時間を9割削減。
- 交通安全の確保
線形不良箇所の解消により、安全性・快適性が向上
- 費用便益比（B/C）=1.1（事業全体）
=2.7（残事業）

◆ 事業の進捗状況

- 平成8年3月に1工区（金武町金武中川地内） L=800m供用済
- 用地進捗率 約80%
事業進捗率 約51% （平成17年度末見込み）

2. 事業の進捗と見込み

- 平成22年度末3工区（L=2,200m：町道111号線～金武町金武浜田）部分供用
- 上記に引き続き1・2工区（L=2,600m：1工区供用済み地点～町道111号線）早期の工事着手を図る。

3. 施設の構造や工法の変更等

- 設計幅員の見直し及び建設発生土の調整等によりコスト削減を図った。
- 今後の施工に関しても、新技術の活用など、更なるコスト削減について検討する。

4. 対応方針（案）

以上のことから一般国道329号金武バイパス事業については継続する。